

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

TEL: 03-5395-3165

FAX: 03-3946-6823



東京社保協

検索

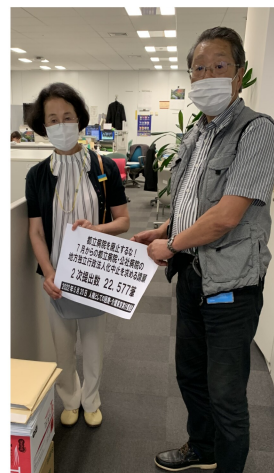


7月からの都立・公社病院の独法化は中止を！



7月独法化中止署名24,660筆提出

7月からの都立・公社病院独法化中止を求める第4次請願を5月20日、累計で24,660筆提出しました。開始から1か月半という短期間での取り組みにもかかわらず、これだけ集まったのは、都民にまともな説明もなく、多くの声を無視して独法化をすすめる小池都政に対する大きな憤りの反映です。



人権としての医療・介護東京実行委員会主催で6回目となる「7月からの都立・公社病院の独法化中止、請願採択を求める」都議会包囲行動が5月27日、雨が断続的に降る昼に、都議会議会棟前で開催され、200人超が参加者しました。

集会では、紹介議員となった里吉ゆみ都議会議員が、駆けつけた日本共産党都議団を代表してあいさつ、自由を守る会の上田令子都議の連帯のメッセージが紹介されました。

請願呼びかけ人を代表して、NPO法人医療制度研究会副理事長の本田宏医師の訴え、東京自治労連、東京民医連、地域の守る会からの訴えがありました。都庁職病院支部の大利英昭書記長からコロナ禍でより多くの感染者の治療に貢献してきた都立・公社病院が独法化されると、一方的に公務員の身分がはく奪され、人員削減や経験・スキルの低下が懸念されることが示されました。

引き続き、6月末まで宣伝・署名を続けるとともに、独法化されたとしても病院の機能が後退しないかを監視し、将来的には都の直営病院に戻すことも視野に運動を継続しようと提起されました。

新しいのち&介護請願採択をめざす5・26国会行動 中央社保協・全労連・全日本民医連・自治労連・日本医労連



新型コロナウイルスの感染拡大は、医療をはじめとした社会保障・福祉体制の脆弱さを明らかにしました。

いのちと健康、くらしを守り、新たな感染症や大規模災害などに備えるための医療・介護・保健所などの社会保障をただちに拡充することが求められます。新「いのち」署名は、衆議院議員の67人が紹介議員、4人が賛同議員となり、参議院議員39人が紹介議員となる運動に広がってきています。新しいのち&介護請願採択をめざす5・26国会行動が、衆議院第1議員会館大会議室で、中央社保協などの主催で取り组まれました。

「介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名」

願採択めざす5.26国会行動



417,019筆、「75歳以上医療費窓口自己負担2割化中止を求める署名」703,419筆、「安全・安心の医療・介護・福祉制度を実現し、国民のいのちと健康を守るための請願署名」457,390筆を国会に提出しました。

第93回中央メーデー

第93回中央メーデーは代々木公園で、人数制限のもと3年ぶりに2,900人が現地参加して開催され、集会後に表参道まで小雨が降るなかパレードをしました。

小畑雅子全労連議長は、ロシアのウクライナへの軍事侵略を糾弾し、「国際世論の力で軍事侵略を止めさせ、国連憲章に基づく平和な国際秩序の回復を」「憲法を生かした平和な日本をつくりため幅広い労働者・国民の共闘を」「労働組合への結集を高め運動をすすめ」「参議院選でいのちと平和を守る政治の実現を求めて市民と野党の共闘を発展させよう」と訴えました。

激励あいさつで日本共産党の志位和夫委員長は、「憲法9条を生かした外交に知恵と力を尽くすのが政治の役割」「『核抑止』論にしがみつくのではなく、核兵器は人間に持たしてはならない『絶対悪』の兵器であり、『核抑止』の呪縛を吹き払い、被爆国の政府として核兵器禁止条約に参加すべき」「憲法9条がつくりだしてきた『信頼力』を生かした外交で、アジアと世界の平和に貢献することが日本に求められている」と訴えました。

中岡基明全労連事務局長の連帯あいさつ、日本被



団協の田中熙巳代表委員、愛労連の西尾美沙子議長、「生業を返せ！地域を返せ！」福島原発訴訟の中島孝原告団長の皆さんからのビデオメッセージが寄せられ、決意表明が自交総連の高城政利委員長、フリーランスの労働者が参加する出版ネットの樋口聡委員長が行いました。

開会前には「人権としての医療・介護東京実行委員会」による会場前での宣伝と署名行動が取組まれ、25人の参加で署名が358筆の集まりました。



改憲発議は許さない！守ろう平和といのちとくらし 2022憲法大集会

憲法施行から75年を迎えた5月3日、3年ぶりの現地集会として、憲法大集会が有明防災公園で開催され、参加者1万5千人が豊洲までパレードしました。

集会では、「ロシアのウクライナへの軍事侵略は、国連憲章に違反する侵略であり、ジュネーブ条約などの国際人道法に反する戦争犯罪です。ただちに撤退を」と強調されました。自民党や維新の会、国民民主党などによる「敵基地攻撃能力の保有」や「核共有」論に対して、「今こそ憲法が掲げる平和主義、9条の精神を生かし、日本国憲法の意義を問い直そう」「9条を生かした平和外交こそ必要だ」「参議院選挙で改憲を阻止しよう」と呼びかけられました。

会場入口で、7月からの都立・公社病院独法化反対の宣伝・署名行動に取組み、18人が参加、チラシ・ティッシュを約千個を配布、署名143筆が集まりました。



各地域・団体の取り組み

第5回コロナに負けない！生活支援・相談プロジェクト 葛飾社保協



新型コロナウイルスから「区民のいのちと生活を守る」葛飾連絡会は、12団体、55人が参加して4月23日に曳舟川親水公園で「第5回コロナに負けない！生活支援・相談プロジェクト」を開催しました。準備直後から150人を超える列ができ、密にならないように注意し、検温や消毒を実施ながら、延べで300人を超える人達に生活支援物資などを配布しました。

葛飾区からは6本入りの水が20ケースとビスケット20ケースが届けられ、赤飯の炊き出しや2kgのお米13袋、カップ麺・ポカリスエット、お菓子などの食品が多数寄せられました。また、カンパが26万2千円寄せられ、お米や野菜、ラーメン、缶詰などの食料品、子供向けのジュースやお菓子、生理用品、ティッシュ、マスク等も購入しました。

事前にチラシ3千枚を配布し、弁護士や看護師、ケアマネ、社労士、労組の役員、議員などの協力も得て、当日は7件の相談が寄せられ、アンケートも135人から寄せられました。

<葛飾連絡会ニュースNo5より>

なんでも相談会・食糧支援を実施 渋谷社保協

4月23日「なんでも相談会・食糧支援」を、東京土建渋谷支部会館で10団体、20人の参加で実施しました。食糧支援では、参加団体から、お米と3種類の缶詰め（非常食）、凍保存用できる調理用の豚肉の協力を頂きました。

当日は、事前の全戸配布や駅頭でのチラシ配布などにより、介護、法律、生活などの相談が9件寄せ

られ、食料の配布は相談者も含めて27人に渡すことができました。食料品の配布には、開始前から希望者が集まり、支援物資に「ちょっと豪華ですね。本当に助かります」と喜ばれました。

相談会では、介護制度や支援体制の貧しさ、生保受給水準の低さ、生活苦などの困難事例が寄せられ、相談者からは「今日は、悩みを聞いてもらえてホットした。とっても有難い」と感謝されました。

<渋谷社保協ニュースより>

インボイス制度導入、都立・公社病院の独法化反対！ 江戸川社保協

4月25日に西葛西駅頭で消費税のインボイス制度と都立・公社病院の独法化



反対を訴える署名・宣伝を行いました。参加者は東京土建江戸川支部、江戸川社保協加盟団体の14人でした。日本は中小零細企業が大半であり、インボイス制度が導入されると経営が圧迫されて倒産や廃業に追い込まれ、中小零細企業は危機的な状況になりかねません。また、都立・公立病院が独法化されると、感染症等の採算がとれない医療が後退し、地域医療が崩壊しかねません。

道行く人に宣伝用ティッシュを渡すと、多くの人が興味を持って受け取っている様子でした。一つ一つは小さな取り組みですが、多くの人に私たちの取り組んでいる運動に興味を持ってもらうためにも、今後も継続して運動に取り組んでいきます。

<江戸川社保協ニュースより>

「健康のための運動や食事の大切さ」を学習 西多摩社保協

4月26日、久しぶりに幹事会を開催し、学習会では「健康のための運動や食事の大切さ」について学習しました。理学療法士でもある関口えり子あきる野市議会議員を迎え、次の様な講義と筋力トレ

ニングを受けました。

加齢とともに筋肉量が減少し、筋力低下が日常生活にも影響してくるので、日常生活動作を自立させるのが筋トレが目標。ウォーキングは体力・持久力の向上が目的なので、筋力をつける筋トレとは違う。意識的に筋トレを有酸素運動と組み合わせて行うと効果的。筋力トレのポイントは、下肢を中心に鍛える。ややきつめの負荷をかける。自分のペースで継続する。水分補給。タンパク質を摂って筋肉を育てる。何歳からでも、やれば必ず効果がでる。

＜西多摩社保協ニュースより＞

「新しいのち」「憲法」で宣伝署名行動 西東京社保協

5月12日、ひばりヶ丘駅前で宣伝と署名活動を東京土建の3名をはじめ8人の参加で行いました。何人もの市民が、戦争



の危険に対する思いを語りかけてくれて、「新しいのち」と「憲法」署名が19筆集まりました。

＜西東京社保協 尾花さんより＞

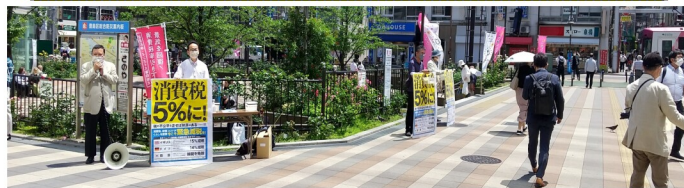
高齢者医療費2倍化中止大宣伝行動 中央社保協・日本高連

4月25日、昼の暑い日差しの中、新宿駅東口で、75歳以上医療費2倍化中止！大宣伝行動が中央社保協、日本高連などの主催で行われ、15団体60名が参加しました。

チラシを配布しながら署名を呼びかけるとともに、各団体の代表が次々とマイクを持ち、コロナ禍、物価高、そして年金減の中で、10月からの医療費2倍化は受診を我慢し、重症化する状況をさらに広げるもの、高齢者から医療を取り上げる野蛮なやり方をやめさせようと訴えました。



消費税は5%に！定例宣伝 消費税廃止東京各界連絡会



消費税廃止東京各界連絡会の定例宣伝行動が大塚駅前で5月23日、7団体、25人の参加で行われました。消費税を引き下げようと訴えながら、ポケットティッシュとチラシなど100個を配布するとともに、署名は3筆集まりました。

都へ「介護に関する要望書」提出 介護をよくする東京の会



介護をよくする東京の会の7名が、7項目27要望からなる「東京都における介護に関する要望書」を5月10日に提出し、重点4項目について、都の担当者と懇談しました。都からは、福祉保健局高齢社会対策部施設支援課、計画課などから4人が出席し、日本共産党の藤田りょう子都議が同席しました。

重点項目は、①介護施設における一人夜勤解消にむけて、②新型コロナ対応として、介護事業所への財政支援など、③介護職員確保について、④利用者などからのハラスメント対策について、です。

要望に対して都は、保険制度の中で対応すべきものとして、都独自には対応せず、国任せの姿勢に終始しました。

社会保障 **「社会保障」誌をご購読ください**

○定期購読（年6回）
3,000円＋税（送料別）
1部500円＋税（送料別）
○申込みは中央社保協ホームページもしくは下記東京社保協へ
Tel 03-5395-3165
Fax 03-3946-6823

「4の目」定例宣伝行動

集鴨駅前 状況により中止の場合もあります

-6月14日(土)12~13時
-7月14日(木)12~13時